プロフィットケア

座位保持ティルトリクライニング車いす

# ラ　ク　レ　ス　ト

## PR-2100、PR-2100B

**取扱説明書**保証書付き

このたびは、「ティルトリクライニング車いすラクレスト」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用いただく前に、この説明書をよくお読みいただき、内容をよく理解された上で正しくお使いくださいますようお願い致します。
なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。



目　次


1. おもな機能と特長 ……2
2. 各部の名称……3
3. 安全にお使いいただくために……4
4. 使用方法 ……7
5. 使用前の点検……15
6. お手入れの方法……17
7. 保管方法 ……18
8. 仕様 ……18
9. アフターサービス……19
保証書 ……20

# 1. おもな機能と特長

## 多彩な姿勢保持機能を搭載したティルトリクライニング型車いすです。

### ◎姿勢保持

○やわらかクッションシートを取り付けることで、クッション性がさらに高まります。

①サイドサポートを６段階の角度調節により身体を横方向から支えます。

②バッククッションの背折れ機能、ヘッドサポートの高さ・角度・左右調整により円背などの姿勢保持に対応します。

③１本のレバー操作により、ティルトリクライニング角度を調整できます。

④アームサポートは４段階の高さ調整が可能です。

⑤移乗時はアームサポートをシート座面と同じ高さに下げることができます。

⑥フット・レッグサポートが開くことにより、ベッド・椅子などに近づくことができます。 またフット・レッグサポートは取り外すことができます。

⑦座面クッションは使用者に合わせて、長さを調節することができます。

### ◎座り心地

クッション性の良いシートをスプリングで支えることで良い座り心地を確保しています。

### ◎安全性

①手挟み防止と身体のサポートに優れたサイドガード付きです。

②駐車ブレーキペダルは、背もたれをリクライニングさせた状態でも操作がしやすい、足踏みペダル式です。

③PR-2100Bには介助ブレーキが付いています。

# 2. 各部の名称

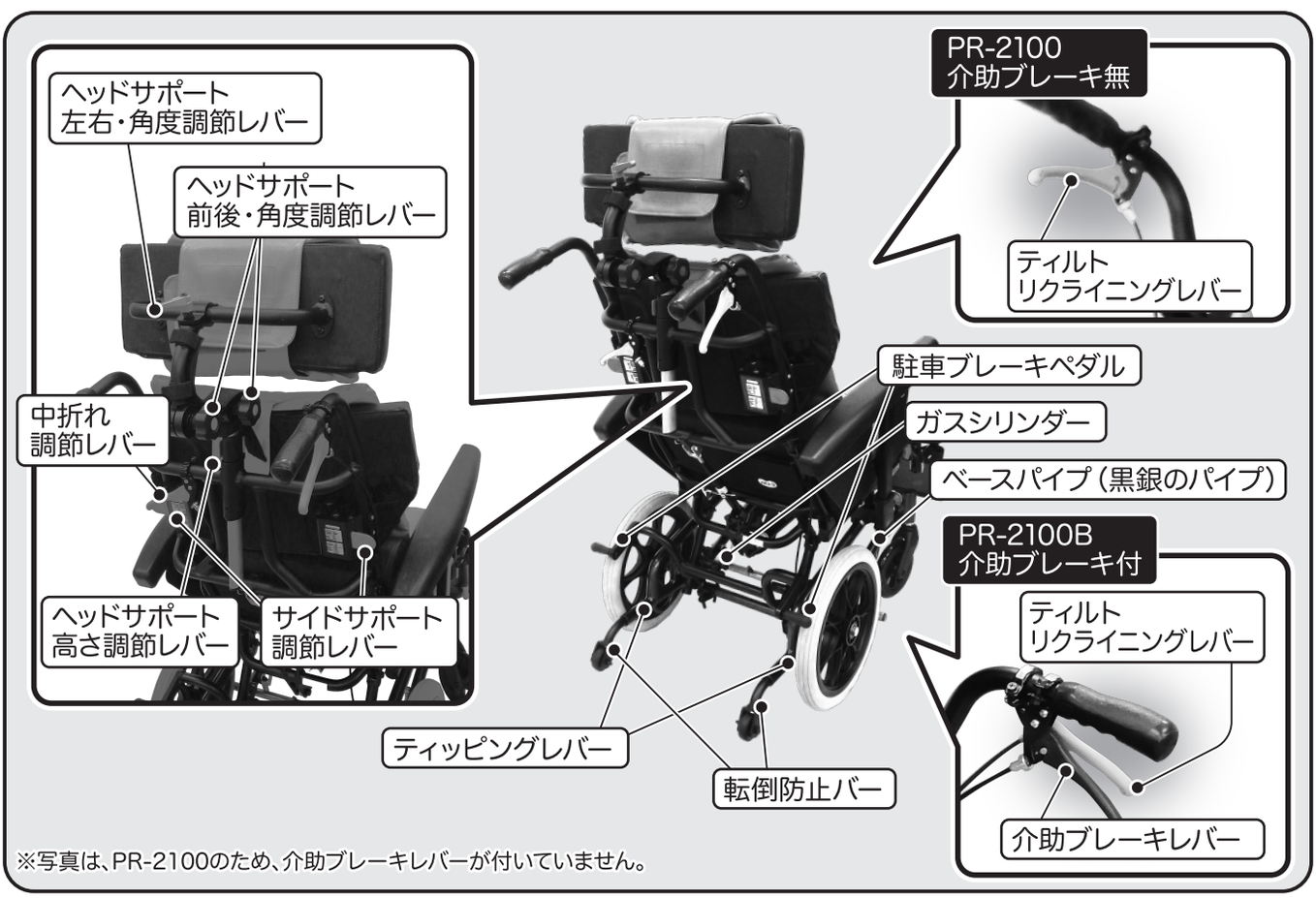
### やわらかクッションシート取り付け時




※写真は、PR-2100のため、介助ブレーキレバーが付いていません。

### やわらかクッションシート取り外し時




※写真は、PR-2100のため、介助ブレーキレバーが付いていません。

# 3. 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用者および他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の大きさと危険の程度によって「警告」「注意」「禁止」「指示」に区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みになり、必ず守ってください。

| ⚠ 警告 | ⚠ 注意 | 禁止 | 指示 |
|---|---|---|---|
| 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。 | 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。物的損害とは、家屋・家財およびペットに関わる拡大損害を意味します。 | 製品使用上、禁止とする行為を示します。 | 製品使用上、必ず行っていただきたい行為を示します。 |

**次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。**

## 操作・走行上の注意

### ⚠ 警告

●「ティルトリクライニング車いす」の取り扱いは、介助者が必ず行ってください。
●ご使用中に、異常を感じたらすぐにご使用を中止してください。
●急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。
●本製品は1人用に設計されています。2人以上で使用しないでください。
※最大荷重（積載物含む）は75kgです。
●スピードを出さないでください。
●スピードが出ているときの急カーブ・急ブレーキは、転倒のおそれがあり大変危険です。
●前かがみの状態など、車いす前方へ体重をかけるような状況は、座面後方が浮き上がり前方に転倒するおそれがあります。
●フットサポート及びレッグサポートの上には、絶対に乗らないでください。また、座面以外に腰かけますとバランスを崩し転倒するおそれがあります。
●走行中、身体を乗り出さないでください。バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。
●勝手に改造・分解しないでください。特に車いすの下部にあるガスシリンダーは高圧ガスが封入されていますので、大変危険です。
●前輪キャスターを浮かせる操作をする際は、必ずティッピングレバーを使用してください。
リクライニングを倒している状態など、ティッピングレバーに足が届かない場合は、リクライニングを元に戻し、ティッピングレバーを操作してください。ご利用者の方が転落することやフレームが破損するなどのおそれがあります。
●段差を乗り越えるときは、足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。
●無理な力による段差乗り越えはフレームの破損につながりますのでおやめください。
●走行中は、身体を乗り出さないでください。走行の安定を損ない危険です。
●アームサポートやフットサポートなどを持って車いすを持ち上げないでください。
●車輪に身体の一部や物を差し込まないでください。手や指を挟み、ケガをするおそれがあります。
●階段、エスカレーター、段差のあるところや、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では走行しないでください。
●手押しハンドルを引き上げて無理に横移動などさせないでください。フレームの破損につながる場合があります。

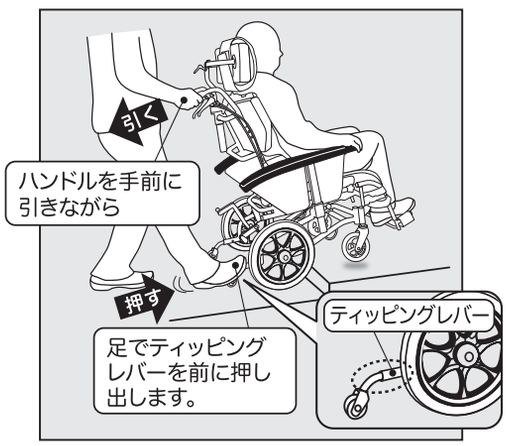
### ⚠ 注意

●車いすを火気に近づけないでください。ヤケド・火災・故障の原因になります。
●ご使用中に、異常を感じたらすぐに使用を中止してください。
●走行中は、足を必ずフットサポートの上に乗せて走行してください。
●認知症の方の場合は、部品などを飲み込むことが考えられますので十分注意してください。
●移動中に使用者のつま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。

## 持ち上げ時、段差乗り越え時の注意

### ⚠ 注 意

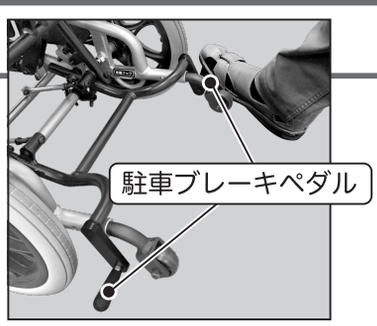
●使用者を乗せたまま車いすを持ち上げるときは、4～5人で行い、ベースパイプをしっかり持ってください。
●車いすを持ち上げるときは座面を水平に保ち、乗っている人の転落には十分注意してください。
●無理な力による段差乗り越えはフレームの破損につながりますのでおやめください。
●前輪キャスターを浮かせる操作をする際は、必ずティッピングレバーを使用し、ハンドルを無理に押し下げないでください。
リクライニングを倒している状態など、ティッピングレバーに足が届かない場合は、リクライニングを元に戻し、ティッピングレバーを操作をしてください。
ご利用者の方が転落することやフレームが破損するなどのおそれがあります。
●段差を乗り越えるときは、足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。
●無理な力による段差乗り越えはフレームの破損につながりますのでおやめください。




## 停止時の注意

### ⚠ 警 告

●停止時は、必ず駐車ブレーキを掛けてください。
●駐車ブレーキを掛け忘れると、車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながるおそれがあります。
●急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。
●駐車ブレーキの操作は、駐車ブレーキペダルが止まる位置まで確実に踏み込んでください。




### ⚠ 注 意

●ハンドルに寄り掛かるなど、過度な力をハンドルに掛けないでください。
●手押しハンドルを引き上げて無理に横移動などさせないでください。
フレームの破損につながる場合があります。

## リクライニング時の注意

### ⚠ 注 意

●手や腕がアームサポートより外に出た状態でリクライニングまたは、起こす操作をしないでください。
背もたれ、フレーム、アームサポートなどにご使用者の手や腕をひっかけたり、挟むなどしてケガをするおそれがあります。
●リクライニングした状態で、バックサポート上に乗り込みますと、転倒するおそれがありますので、おやめください。
●リクライニングする際は、必ず駐車ブレーキを掛け、リクライニングすることをご使用者へ声掛けしてから行ってください。
●介助者は車いすに乗って介助しないでください。
●ボルト、ナットが緩んでいる際は、使用中止し、販売店にお問い合わせください。

## 移乗時の注意

### ⚠ 注 意

●移乗するときは、必ず駐車ブレーキを掛けてください。
●移乗するときは、アームサポートに無理な体重や荷重がかからないように、アームサポートを下げてください。
●通常使用するときは、必ずアームサポートがロックされる状態まで上げてください。
●フットサポートの上に乗って、車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。
●車いすのシートの上で立ち上がらないでください。
●移乗する時は、フットサポートを跳ね上げてから行ってください。
また、跳ね上げたフットサポートに足が当たらないように注意してください。
●移乗や駐車は平坦な場所で行ってください。




## 保守・点検の注意

### ⚠ 警 告

| | |
|---|---|
| 禁止 | ●改造・分解はしないでください。強度や耐久性が低下して危険です。<br>●故障、異常があるときは、事故や転倒のおそれがあるため、使用しないでください。 |
| 指示 | ●使用する前に後車輪、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのねじを点検し、緩んでいるときは増し締めをしてください。（P15記載の、ガスシリンダーの固定ナット部分は除きます）<br>●車いすに水がかかった場合は、ただちに拭き取ってください。<br>●各部を調整するときは、平坦な場所で行ってください。<br>●車いすを自動車に載せたり、降ろす際は、大きな衝撃を与えないよう、ゆっくり降ろしてください。車いすの破損や故障の原因になります。 |

# 4. 使用方法

## (1)開梱　以下❶〜❼があることをご確認ください。

❶製品本体



❷取扱説明書(本書)



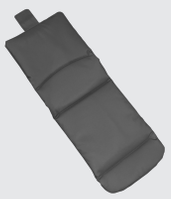

❸フット・レッグサポート(2点)



❹ヘッドクッション(やわらかクッション枕)



❺やわらかクッションシート



❻骨盤クッション



❼転倒防止バー(2点)



## (2)最初の準備(組み立て方法)

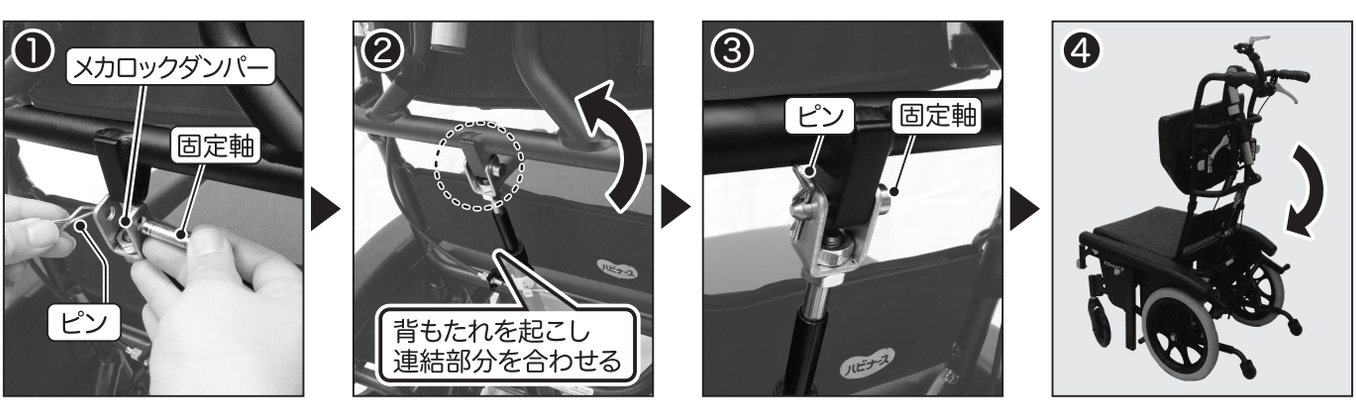
### 2−1.背もたれ連結部の固定

❶ 製品本体後ろ側のメカロックダンパーに予め装着されているボルトと留め具を外します。
❷ 手押しハンドルを持ち背もたれを起こしながら、連結部をメカロックダンパーに合わせます。
❸ ❶で取り外した固定軸とピンを取り付け、固定させます。
❹ ティルト・リクライニング操作がスムーズにできることを確認してください。※P.11(9)参照




**⚠注意**

- 組み立てる際、ワイヤーやクッションなどを挟み込まないように注意してください。
  破損の原因になります。
- 固定軸やピンなどの細かい部品は、組み立ての際、無くさないように注意してください。



## 2－2.ヘッドサポートの取り付け

❶ 駐車ブレーキを掛けてください。※P.9（3）参照
❷ ヘッドサポート左右・角度調整レバーを緩め、ヘッドサポート受け部を開きます。
❸ ヘッドサポートフレームを受け部に乗せます。
❹ ヘッドサポート受け部を閉じ、ヘッドサポート左右・角度調節レバーを締め切り、ヘッドサポートを固定します。













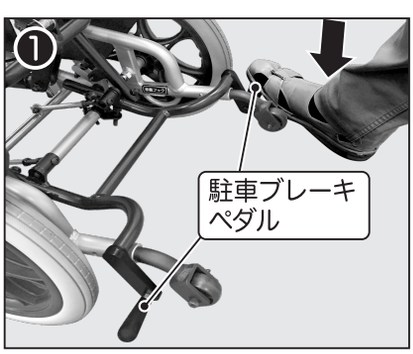
**⚠ 注意**

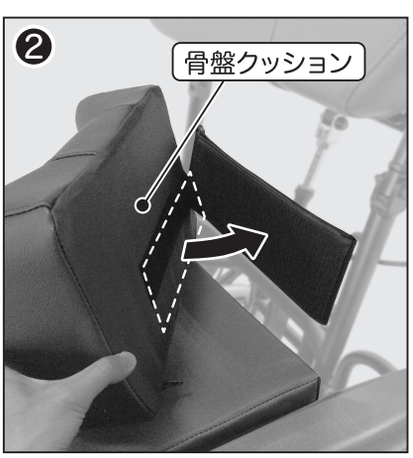
❗ ヘッドサポート左右・角度調節レバーは、しっかりと固定されるまで回してください。
また使用前に、ヘッドサポート左右・角度調整レバーが、しっかりと固定されていること、ガタツキがないことを確認してください。
固定が甘いと、ヘッドクッションが回転し、事故やケガの原因になります。

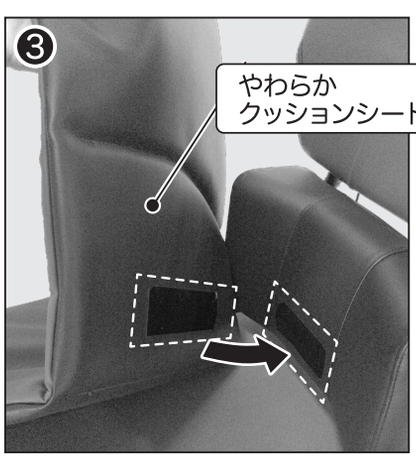
🚫 使用者が乗っている状態でヘッドクッションの取り外しを行わないでください。
事故やケガの原因になります。

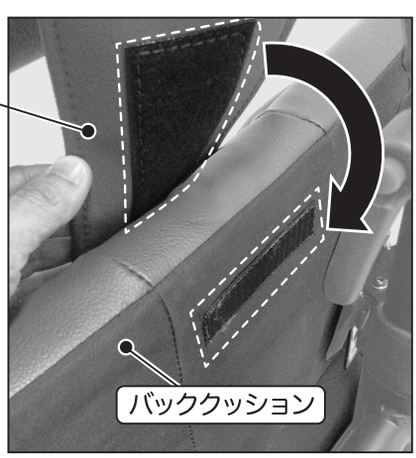
## 2－3.骨盤クッション、やわらかクッションシートの取り付け

❶ 駐車ブレーキを掛けてください。※P.9（3）参照
❷ 骨盤クッションと製品本体の骨盤部分にある面ファスナーを、張り合わせます。
❸ やわらかクッションシート裏側2箇所の面ファスナーを、骨盤クッションとバッククッション後ろ側の面ファスナー部に張り合わせます。



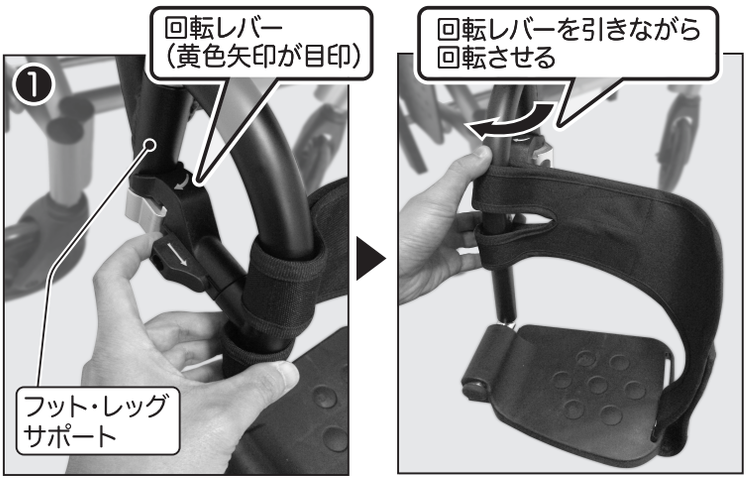



## 2－4.フット・レッグサポートの取り付け（取り外し）

❶ 回転レバーを引きながら、フット・レッグサポートを外側に回転させ開きます。
❷ 取り外しはフット・レッグサポートを外側に回転させた状態で上方に引き上げます。
❸ 取り付けは逆の手順で、フット・レッグサポートを受けパイプにはめ込み、内側に回転させます。

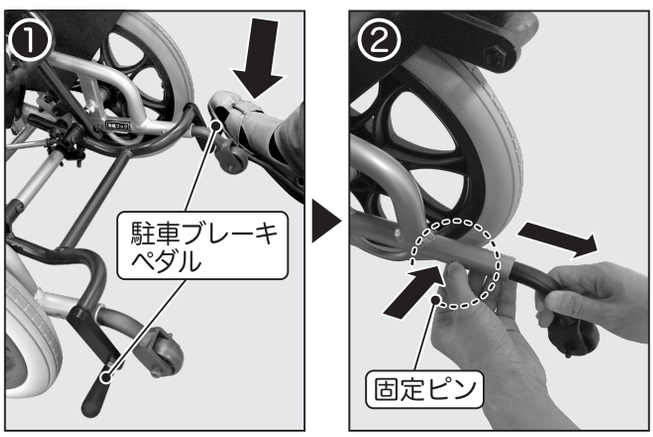



**注意**

- フット・レッグサポートの回転、取り外し、取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けた状態で行ってください。
- フット・レッグサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。

## 2－5.転倒防止バーの取り付け（取り外し）

❶ 駐車ブレーキを掛けてください。
※P.9（3）参照
❷ 取り外す場合、固定ピンを押し込み、転倒防止バーをまっすぐ引き抜いてください。
❸ 取り付ける場合、転倒防止バー固定ピンを押し込みながら、ティッピングレバーに、転倒防止バーをまっすぐ差し込みます。
❹ フレーム穴部に固定ピンがはまり、固定されたことを確認してください。




## （3）駐車ブレーキの掛け方

駐車ブレーキペダルを踏むと駐車ブレーキが掛かり、上へ戻すと解除されます。

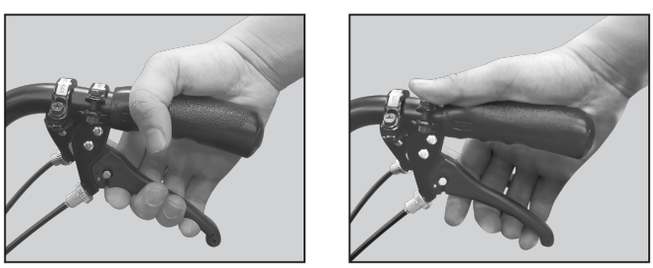



**注意**

- 停車時は、必ず駐車ブレーキを掛けてください。
- 駐車ブレーキの操作は、駐車ブレーキペダルが止まる位置まで、確実に踏み込んでください。

## （4）介助ブレーキの取り扱い方法（PR-2100Bのみ）

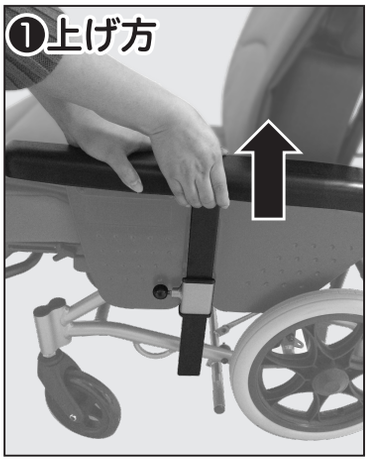
介助ブレーキが必要な場合には左右均等な力で握ってください。レバーを放すと解除されます。

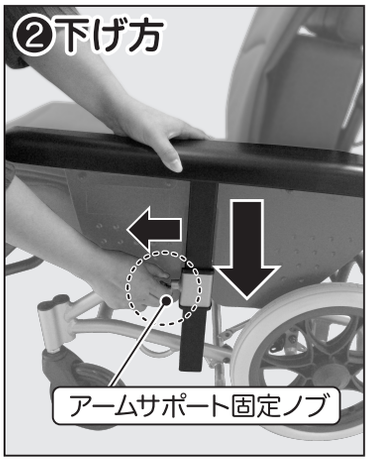


## (5)アームサポートの上げ方、下げ方

❶ アームサポートの中央付近を持ち、任意の高さになるまでゆっくりと上げてください。
※高さは4段階まで、調節が可能です。

❷ 下げる際は、アームサポートの支柱根元に設けられた固定ノブを引き、ゆっくりと下げてください。




**注意**

- アームサポートの高さを調節した際は、確実にロックされたことを必ず確認してください。
- アームサポートの上げ下げは、ご使用者の手や腕がアームサポートより外に出ていないことを確認してから操作してください。また、介助者はストッパーのつまみをしっかり握り、指を挟まれないよう十分に注意し、ゆっくりと操作してください。
- サイドガードと車いすの間に手や指が挟まっていないことを十分確認してから操作してください。
- 移乗する時は、必ずアームサポートを下げてください。アームサポートに無理な体重や荷重がかかり、フレームが変形・破損したり、アームサポートの上げ下げが固くなるおそれがあります。
- アームサポートを持って、車いすを持ち上げないでください。
- ご使用者の腕や体の重さがアームサポートにかかっている状態で固定ノブを引かないでください。

## (6)フットサポートの取り扱い

フットサポートは、手動で簡単に外側に跳ね上げることができます。
移乗時や介助の妨げになるときは跳ね上げてください。




**注意**

- フットサポートの上に乗って、車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。
- フットサポートの操作時は使用者の足や指が挟まっていないことを十分に確認してから操作してください。
- フットサポートを持って、車いすを持ち上げないでください。

## (7)フットサポートの高さ調節方法

❶ アジャストナットをスパナで緩め、フットサポートを上下させて、使用者の足位置に合わせます。
❷ 位置が決まったら、アジャストナットを締め込み固定します。

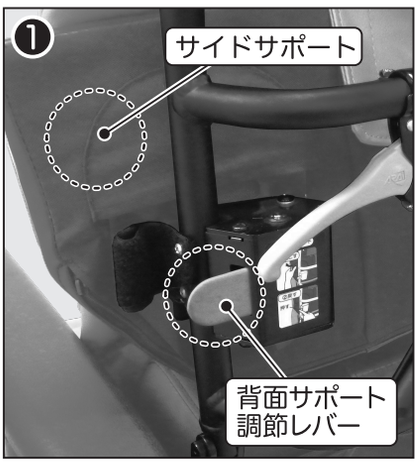



**注意**

- フットサポートの最低地上高は5cm以上確保してください。走行中に段差に接触し、転倒するなどケガにつながるおそれがあります。
- アジャストナットは確実に締め付けてください。

## (8)サイドサポート角度の調節方法

❶ 左右のサイドサポート角度を調節することで使用者の身体を横方向から支えることができます。
❷ 製品本体のサイドサポートを押し込むことで、身体支持面の角度をつけることができます。
（調節は6段階で行えます）
❸ サイドサポートの角度を戻す場合は、サイドサポート調節レバーを押し込むことで、元の位置に戻ります。










**注意**

- サイドサポートと製品本体の間に、手や指を挟みこまないよう十分に注意して操作を行ってください。
- サイドサポートの角度を調節した際は、必ずサイドサポートが固定されたことを確認してください。

## (9)ティルトリクライニング角度の調節方法

ティルトリクライニングレバーを握ると、背もたれ部分の固定が解除され、任意の角度に調節ができます。
レバーを離した角度で固定されます。






**注意**

- リクライニング操作中は、使用者から目を離さないでください。
- レバーの操作は、必ず駐車ブレーキを掛けてから行ってください。
- ティルトリクライニング操作を行う際は、使用者の手や足がアームサポートより外に出ていないことを確認してから行ってください。
- サイドガードと車いすの間に、手や足が挟まっていないことを十分に確認してから操作してください。
- 手押しハンドルに寄り掛るなど、過度な力を掛けないでください。

**警告**

- 手押しハンドルを引き上げて無理に横移動などさせないでください。フレームの破損につながる場合があります。

## (10)座面クッションの奥行き調節

座面クッションの奥行きを、使用者に合わせて調節することができます。
(最大8cm前方に伸ばせます)

❶ 駐車ブレーキを掛けてください。※P.9(3)参照
❷ 座面クッション下、左右にある座面クッション調節ノブを緩めます。
❸ クッション下のパイプを持ち、前方に引き出して、任意の長さに調節します。
❹ 調節ノブを左右しっかりと締め、座面クッションが固定されたことを確認します。



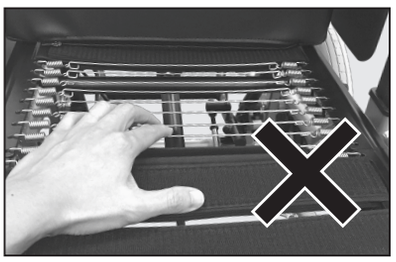







**注意**

座面クッションを前方に引き出す際は、クッション下のワイヤーやスプリングを持たないでください。手や指を挟み、ケガの原因になります。



## (11)中折れ角度の調整方法

中折れ角度を調節することで円背などの身体保持ができます。
中折れ調節レバーを握ると背折れ部の固定が解除され、任意の中折れ角度に調節ができます。
中折れ調節レバーを離した角度で固定されます。






**注意**

中折れ角度調節レバーを握る際、製品本体後ろ側のメカロックダンパーに手や指を挟みこまないように注意してください。

## (12)ヘッドサポート調節方法

ヘッドサポートの高さ、角度、左右方向の調整ができます。






### 12-1.高さ調節

❶ ヘッドサポートを持ちながら、ヘッドサポート高さ調節レバーを開きます。

❷ ヘッドサポートを任意の高さに調節し、ヘッドサポート高さ調節レバーを締め、ヘッドサポートが確実に固定させていることを確認してください。

### 12-2.前後・角度調節

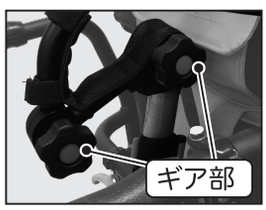
❶ ヘッドサポートを持ちながら、ヘッドサポート前後・角度調節レバーを緩めます。

❷ ヘッドサポートを任意の前後位置・角度に調節し、ヘッドサポート前後・角度調節レバーを締め、ヘッドサポートが確実に固定させていることを確認してください。




**⚠注意**

❗ 前後・角度調整後の固定の際はギア部が確実に噛み合っていることを確認してください。またご使用前にガタツキがないことを確認してください。

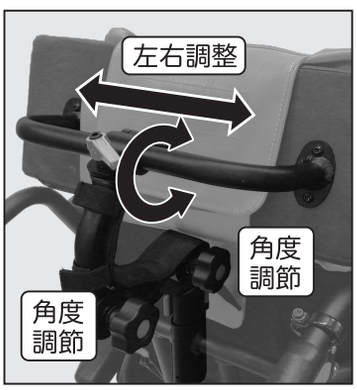


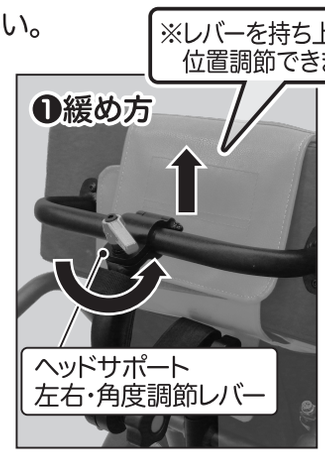

### 12-3.左右・角度調節

❶ ヘッドサポート左右・角度調節レバーを緩める場合は、レバーを左（時計回り反対方向）に回します。

❷ ヘッドサポート左右・角度調節レバーを締める場合は、レバーを右（時計回り）に回します。

❸ ヘッドサポートを任意の左右・角度調節を行い、調節レバーを締め、ヘッドサポートが確実に固定させていることを確認してください。







**ポイント**




**⚠注意**

❗ 角度調節部は、使う度に緩みが無いか、緩みやすくなっていないか確認してください。

❗ ヘッドサポートを調節する際は、必ず駐車ブレーキを掛けてから行ってください。

❗ 過度なレバー操作を行いますと、故障の原因になりますのでご注意ください。

❗ ヘッドサポートを調節する際は、連結部や可動部に手や指を挟まないように、注意しながら操作してください。ケガの原因になります。

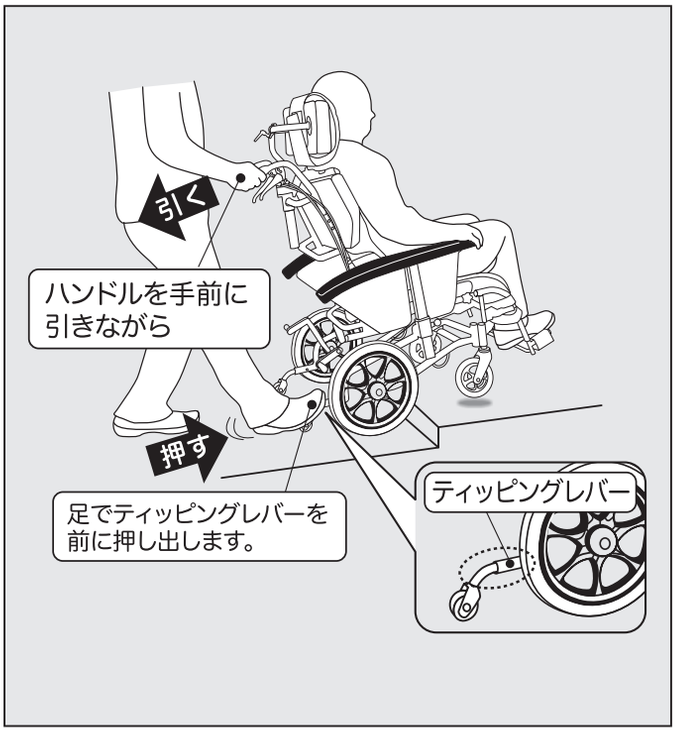
🚫 ヘッドサポートを持って、車いすを持ち上げないでください。
また、走行時にヘッドサポートを持ち手として使用しないでください。

## (13) ティッピングレバーの使用方法

●前輪キャスターを浮かせる操作をする際は、必ずティッピングレバーを使用してください。リクライニングを倒している状態など、ティッピングレバーに足が届かない場合は、リクライニングを元に戻し、ティッピングレバーを操作してください。また、ハンドルを無理に押し上げないでください。ご利用者の方が転落することやフレームが破損するなどのおそれがあります。

●段差を乗り越えるときは、足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。

●無理な力による段差乗り越えはフレームの破損につながりますのでおやめください。




**注意**

- 前輪キャスターを浮かせる操作をする際は、必ずティッピングレバーを使用してください。
- フットサポートの先端を段差、障害物に当てないよう注意してください。

# 5. 使用前の点検

使用前に以下の点検を必ず行ってください。点検を行い作動不良や今までと違う異音やガタツキがあったときには、ご使用を取りやめ、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ㈱、ピジョン㈱お客様相談窓口までお問い合わせください。

### ①駐車ブレーキ・介助ブレーキの作動確認

駐車ブレーキペダル・介助ブレーキレバーを操作し、ブレーキが掛かることを確認してください。

### ②背もたれ部分が固定されていることの確認

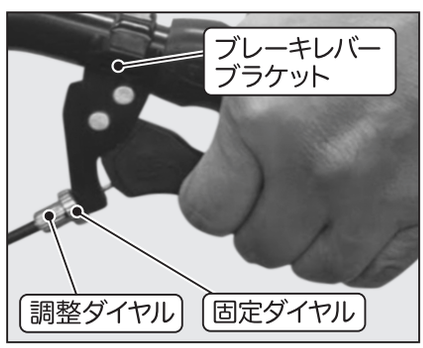
1）背もたれ連結部のボルトと留め具をチェックし、確実に固定されていることを確認してください。
2）背もたれ部分を倒し、ティルトリクライニングレバーを放したとき、背もたれ部分が固定されていることを確認してください。

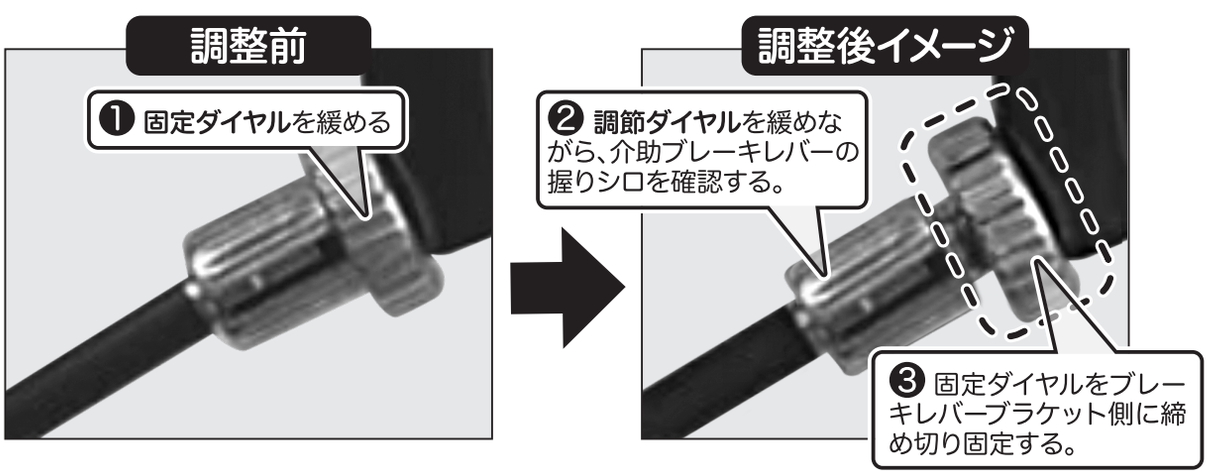
### ③可動部分の確認

1）前輪キャスター、後車輪、ブレーキ、本体フレームなどのガタツキ、ねじの緩みがないことを確認してください。ねじが緩んでいると、ねじが脱落し、事故につながるおそれがあります。
2）ティルトリクライニング、中折れ調節、介助ブレーキが正常に動作することを確認してください。

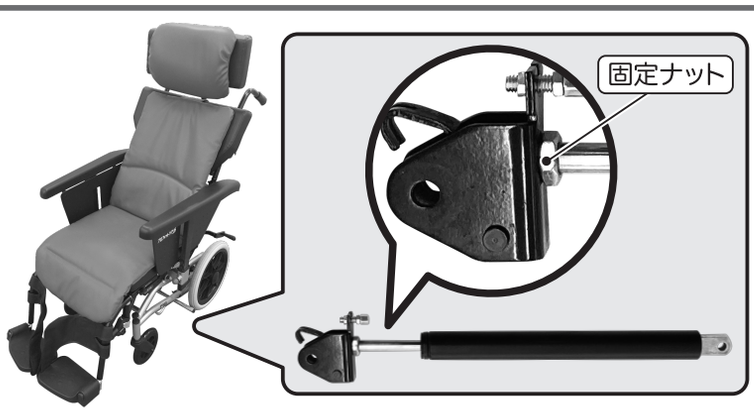
**介助ブレーキが効きにくくなった場合**は、
ブレーキレバー手元のダイヤルにより調節できます。

❶ 固定ダイヤルを緩める。
❷ 調節ダイヤルを緩めながら、介助ブレーキレバーの握りシロを確認する。
❸ ブレーキの効きを確認したら、固定ダイヤルをブレーキレバーブラケット側に締め切り固定する。




⚠ 警告




ガスシリンダーの固定ナットが緩んでいる場合は、ご使用を取りやめ、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談窓口までお問い合わせください。
緩んだ状態での使用は、転倒・転落などの事故につながるおそれがあります。

### ④消耗品、交換部品の確認

それぞれの部品が交換時期になったときは、早めに交換してください。新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ㈱、ピジョン㈱お客様相談窓口までお問い合わせください。

## 消耗品・交換部品

| 部品名 | 交換時期 |
|---|---|
| 後車輪 | タイヤ表面の溝がなくなったとき。表面がひび割れたとき。 |
| 前輪キャスター | しっかり取り付けていてもガタガタするとき。表面がひび割れたとき。 |
| ヘッドクッション | ほつれ、切れ目が発生したとき。ひどく汚れたとき。 |
| バッククッション | |
| 座面クッション | |
| やわらかクッションシート | |
| やわらかクッション枕 | |
| ティルトリクライニングワイヤー | ワイヤーにほつれ、サビが発生したとき。 |
| 介助ブレーキワイヤー | |

## 使用前点検リスト

| 点検箇所 | 点検内容 |
|---|---|
| 後車輪 | タイヤ表面の溝はすり減っていないか、表面がひび割れていないか |
| 前輪キャスター | フレームへの組付け部に緩みはないか |
| | 車軸の緩みはないか |
| | 前輪は問題なくスムーズに回転するか |
| ヘッドサポート | ヘッドサポートの角度・位置調整、及び固定はできるか |
| | ヘッドサポートの各部レバーを締めきった際、正常に固定されているか |
| フット・レッグサポート | フット・レッグサポートを本体に取り付けるときに、ガタツキ・緩み・破損は見受けられないか |
| | フットサポートの高さを身体に合わせて調節できるか |
| | フット・レッグサポートはスムーズに旋回するか |
| | フット・レッグサポートをロックした際、正常に固定されているか |
| アームサポート | アームサポートの高さ調整、及び固定ができるか |
| ティルトリクライニング | ティルトリクライニングの角度調整、及び固定ができるか |
| | ティルトリクライニングワイヤーにほつれ、サビは見られないか |
| 駐車ブレーキ | 駐車ブレーキを操作した際、ブレーキが効いているか |
| 介助ブレーキ | 介助ブレーキを操作した際、ブレーキが効いているか |
| シート・クッション類 | 異常なたるみ、亀裂、擦り切れ等の破損はないか、また変色はないか |
| ガスシリンダー | 固定ナットにガタつき、緩みがないか |
| メカロックダンパー | ボルトと留め具が、正常に固定されているか |
| その他 | フレームに目立ったキズはないか |

**注意**

交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながるおそれがあります。
それぞれの部品が交換時期になったときは、お早めに交換してください。

# 6. お手入れの方法

## ①本体フレームのお手入れ

1）フレーム汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
　拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
2）水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

**注意**

- ●車いす本体を水洗いされますと、動作部の油が流れ落ち、動作に支障をきたすおそれがありますので、おやめください。
- ●熱湯やオゾンで洗浄しないでください。製品を傷めるおそれがあります。
- ●シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。
  製品を傷めるおそれがあります。
- ●たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
  製品を傷めるおそれがあります。

## ②樹脂部のお手入れ

1）汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
2）水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

**注意**

- ●樹脂部を消毒用アルコール、有機溶剤、塩素系洗剤などで拭きますと変色、劣化のおそれがありますので、おやめください。

## ③各種マットのお手入れ

1）ヘッドクッション、バッククッション、座面クッション、やわらかクッションシート、やわらかクッション枕は洗濯をしないでください。
2）汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。

## ④アームサポートのお手入れ

1）アームサポートの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませ拭き取ってください。
　拭き取った後は、乾いた布で水分を取り除いてください。

　**注意）**研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーなど、洗浄時にキズが生じるおそれのあるものは使用しないでください。

2）アームサポートのパイプの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませ拭き取ってください。
　拭き取った後は、乾いた布で水分を取り除いてください。

　**注意）**汚れがひどくなりますと、アームサポートが上下に動かなくなるおそれがあります。

## ⑤走行性の確認

まっすぐ進まない場合、どこかが歪んでいる可能性があります。お買い上げの販売店または、
ピジョンタヒラ㈱、ピジョン㈱お客様相談窓口までお問い合わせください。

### ⑥駐車ブレーキの作動確認
駐車ブレーキレバーを操作し、駐車ブレーキが掛かることを確認してください。

### ⑦シートの確認
車いすは湿気などの影響で、雨にぬれる場所などに放置したり、長時間続けてご使用になるとシートに破損、たるみが発生します。適度な座り心地が保ちにくくなりますので、たるみ、破損が著しい場合は交換をお勧めします。

### ⑧各部ねじの確認
後車輪、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのねじを点検し、緩んでいるときは増し締めをしてください。（P15記載の、ガスシリンダーのナット部分は除きます）

**注意**

●シンナー、ベンジンなどの溶剤は、使用しないでください。塗装がはがれるなど、製品を傷めるおそれがあります。

## 7. 保管方法

①製品の劣化を避けるため直射日光が当たる場所、雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所を避けた室内に保管してください。
②サビやタイヤの劣化を避けるため、湿気の多い場所や室温が著しく高い場所（50°C以上）には保管しないでください。

## 8. 仕　様

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 材質 | フレーム | アルミ |
| | シート、クッション（表地） | 合成皮革 |
| | クッション（中材） | ウレタンフォーム |
| 寸法 | 全長 | 1100mm |
| | 全幅 | 574mm |
| | 全高 | 1160mm～1550mm（ヘッドサポート最大伸ばし状態） |
| | 座面幅 | 400mm |
| | 座面奥行 | 360～440mm（バックサポート部クッションから）※やわらかクッションシート除く |
| | 前座高 | 470mm ※やわらかクッションシート除く |
| | 後座高 | 410mm ※やわらかクッションシート除く |
| | アームサポート高 | 座面から175, 200, 225, 250mm ※やわらかクッションシート除く |
| | 座面角度 | 7～17° |
| | 背もたれ角度 | 95～130° |
| | 後輪×前輪 | 14インチ/6インチ |
| 最大荷重 | | 75kg（積載物含む） |
| 重量 | | PR-2100　28.0kg |
| | | PR-2100B　30.5kg |

※製品は、品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

# 9. アフターサービス

## この製品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ㈱、ピジョン㈱お客様相談窓口までお問い合わせください。

## 修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この製品の品名、製造番号(ロットNo.)、および故障状況をくわしくご連絡の上、お申しつけください。転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョンタヒラ㈱またはピジョン㈱お客様相談窓口までお問い合わせください。

## 製品の保証について

1) 保証内容につきましては、次のページの保証書をご覧ください。
2) 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

# 保証について

保証書は日本国内においてのみ有効です。
この保証書は明示した期間、条件の下において無償での対応をお約束するものです。
従いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
ご使用中、万が一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談窓口へ現品に保証書をそえて、修理をご依頼ください。
保証期間経過後の故障などの対応等につきまして、お分かりにならない場合は、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談窓口までお問合せください。
保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。

## 保　証　書

| 製　品　名 | シリアル番号 | 保　証　期　間 |
|---|---|---|
| ラクレスト | | お買い上げ日より1年間<br>（ただし保証規定による） |

| | | |
|---|---|---|
| お客様 | お名前 | お買い上げ日<br>年　　月 |
| お客様 | ご住所　〒 | ＴＥＬ |
| 販売店 | 店名 | ＴＥＬ |
| 販売店 | 住所 | |

＊太枠内の記入なき場合は無効となりますので、必ずご記入ください。
＊ただし、販売店の記載については、お買い上げ時のレシートまたは販売証明書の添付でも有効です。

## 保証規定

1. 保証期間は「お買い上げ日より 1 年間」です。
2. 製造終了から３年経過した製品や、修理に必要な部品の在庫が無くなった場合、既に修理対応ができない製品については、修理をお受けできない場合がございます。
3. 保証期間内に取扱説明書に基づく正常な使用方法において、万が一故障した場合には無償修理を行います。
   お客様の誤使用などによる故障においては有償修理となります。
   また依頼時点の状況により保証期間内であっても修理自体ができない場合もありますので予めご了承ください。
4. 保証期間内であっても下記の項目に該当するものは有償修理となります。
   A.保証書の提示のない場合（製品に同梱されている取扱説明書にあります）
   B.部品の自然劣化および自然消耗による変退色
   C.可動部、消耗部品（タイヤ、キャスター等）の消耗、故障、損傷等
   D.縫製品の色あせ・やぶれ・すり切れ・ほつれ、その他の損傷および破損
   E.お客様の誤使用・保管不備・手入れ不足・改造や不当な修理による故障、損傷および破損
   F.部品の紛失
   G.火災・地震・水害・落雷等、天災地変などの不可抗力による故障、損傷および破損
   H.事故や落下などにより強い衝撃を受けたことによる故障、損傷および破損
   I.故障の原因が本製品以外に起因する場合
   J.故障ではない箇所をお客様のご依頼により交換する場合
   K.保証書の必要記入項目に不備がある場合、字句を書き換えられた場合
   L.有償修理の場合に要する発送運賃、消耗品の代金はお客様負担となります。
5. 製品による二次的な損傷、損害などは本保証の対象外となります。
6. 本保証は、日本国内で購入し使用した場合においてのみ有効です。海外への修理サービスは、いたしかねます。
7. 本保証は、保証書に記載の販売店からお買い上げいただきましたお客様（贈答品については、当該お客様より贈答を受けた方）のみ有効です。
   ネットオークション、フリーマーケット、リサイクルショップなどにより、第三者から有償無償を問わず譲渡を受けた製品につきましては、本保証は適用されません。

2022年8月現在


お問合せ先 **ピジョンタヒラ株式会社**
〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル
ピジョンタヒラ（代表） TEL 03-3661-4371
ピジョンタヒラホームページは
https://www.pigeontahira.co.jp

**ピジョン株式会社**
〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4
（お客様相談窓口） TEL 0120-741-887